



# 口加だより

平成27年12月24日発行  
長崎県立口加高等学校  
第9号

## あやめが丘の窓から

### 節 目

校長 下 釜 祐 保



NHKの番組に「SONGS」という音楽番組がある。12月19日の放送は、ユーミンこと松任谷由実氏のSONGSスペシャルだった。今年10月24日に県立奈留高校の創立50周年記念式典があったが、その番組の中で式典当日の様子が流れた。ユーミンが奈留高校に現れたのだ。

奈留高校の創立は50年前、五島高校の分校としてスタートした。分校の校歌もちろん本校と同じもの。開校からしばらくして、当時高校2年の女子生徒が、デビュー間もないユーミンの深夜番組に手紙を投書した。「私たちの校歌をつくってください」。これにユーミンが応えてくれたのが、高校の音楽の教科書にも載った名曲『瞳を閉じて』である。

私はこの3月までその奈留高校に勤務していたので、当然のことながら、記念式典の準備にも関わった。そこで気になったのは「記念式典」とは何かということであった。

前年は周知の通り「長崎がんばらんば国体」の年だった。軟式野球部が夏の選手権県大会で優勝を収め、本県代表として出場した。関係者には物心両面からご支援をいただいた。そのお礼の一言と翌年に迫った周年行事周知のため、東京・大阪の同郷会にも出かけた。大歓迎を受け、賑わいに浸った。そこでふとあることに気づく。耳を澄ますと、その賑わいは周年行事の一コマに重なって聞こえるのである。そうか、周年行事は、それぞれのあの時を振り返る機会、開校・創立の原点に戻る機会、紡がれた思いを確認する機会であり、その結果、今歩いている道が正しい道かを検証し、今後の教育の方向性を見定める絶好の契機にしなければならないと諭してくれた。記念式典や記念行事は、他にはない絶好の教育機会であり、学校力推進の機会であるとかみしめたのだった。

さて、今年も残すこと数日となった。時の流れの節目が目前に迫った。今年1年を振り返るとそれぞれに思いがあろう。この節目は学校の周年行事と同じで、自己教育の絶好の機会であり、人としての成長の契機にしなければならない。

本来はアナログである時の流れに、時間軸という発想の節目をつけた先人の知恵に感謝し、我が人生に生かしたい。どうぞ、よいお年を…。



## 平成28年1月行事予定

日(曜)	全校	1年	2年	3年
3日(日)				対外模試(～4日)
5日(火)				冬季補習(～7日)
7日(土)		補習	補習	
8日(金)	始業式 / 服装頭髪検査	校内実力テスト	校内実力テスト	
10日(日)			中地区学習交流会(～11日)	
12日(木)	補習再開			
14日(木)		L:進路講演会		センター試験出陣式
16日(土)				センター試験(～17日)
18日(月)				センター試験自己採点
19日(火)				特別授業I開始
23日(土)		対外模試	対外模試(～24日)	補習
30日(土)			補習	補習

### 《その他の行事》

- 生活創造コース……………10日(日)家技検和2級(～11日)  
19日(火)3年保育実習⑤  
22日(金)2年幼児親子交流⑤  
25日(月)テーマ研究発表会
- バスケット部……………16日(土)県新人戦(～18日)
- バレー部……………16日(土)県新人戦(～18日)
- ソフトテニス部……………16日(土)シングルス大会
- 進路指導関係……………15日(金)2年就職公務員模試③
- 英語科……………22日(金)第3回英検1次



～椿の花言葉～  
「控えめな優しさ」「誇り」  
口加生としての誇りを胸に・・・

### 1学年 進路講演会～下春雄二先生を迎えて～

12月9日(水)開催しました。始めにマジックを披露してくださり、会場は笑いに包まれ和やかな雰囲気が始まりました。そこから先生の貴重な体験を基に、進路選択にあたって「自分を知ることの大切さ」「謙虚であること」の講話を頂きました。生徒達は、メモを取りながら真剣に聴き入っていました。



### 歳末助け合い街頭募金

12月1日に口之津・加津佐で街頭募金を行いました。寒い中での活動でしたがお子さんからご年配の方まで多くの方にご協力頂き、心暖まるふれ合いの時間となりました。集まった校内外募金総額は65979円。生徒会を通じて、寄付いたします。ありがとうございました。





## 2学年修学旅行～東京へ3泊4日の旅～

12月8日(火)～11日(金)修学旅行へ行ってきました。天候にも恵まれ、体調不良者を出すこともなく研修を行うことができました。今回は初めて「関東口加会」の先輩方との交流会を催し、生徒達は活躍されている先輩方の話に耳を傾け今後の進路選択にとって有意義な時間となりました。



～修学旅行を終えて 生徒たちの感想～

### ○1日目 グローバル人材研修を受けて：中村真結子さん

『留学生との交流で異文化を知ることができました。始まる前は4時間英会話でもつのか、と心配していましたが、楽しくあっという間に過ぎていき、為になる大きな経験となりました。』

### ○2日目 都内班別自主研修を終えて：青木芽さん

『東京の街を歩いてみて、人の多さや次々と来る電車の数等、口之津と東京の違いに驚かされました。このような違いを実際に感じる中で今まで自分が生きてきた世界の狭さに気づくことが出来、これからはもっと様々な文化や世界の国々について知りたいと思いました。』

### ○2日目夕食 「関東口加会」座談会に参加して：太田優希さん

『座談会では、「関東口加会」の先輩方がお話をして下さいました。その中で、自分があまり考えてなかった進路や、今のうちからやっておきたいことなど、様々な事を学ぶことが出来、自分の進路のあり方を考え直す良い機会になりました。』

### ○3日目 「ディズニーセミナー」研修を受けて：井上春花さん

『セミナーでは「おもてなし」について学びました。キャスト（スタッフ）がゲスト（お客様）の事を想ってマニュアルにない自分で考えたおもてなしをしている、ということが分かりました。セミナー後、実際ディズニーランドに行ってそれを実感することが出来ました。』

## 今月の生活創造コース

5日(土) 口之津図書館クリスマスおはなし会(2年)

手作りのペーパーサート「りょうりをしてはいけないなべ」とパネルシアター「かさじぞう」・大型紙芝居「ポッチィはくいしんぼう」の実演をしました。



12日(土) 家庭科技術検定(洋服1級)(3年)



15日(火) 若木保育園実習(3年保育選択)

クリスマスプレゼントとしてペーパーサート「三匹のこぶた」と各クラス向けに大型絵本の読みきかせの実演を行いました。



## PTA 研修視察旅行

11月20日(金)1泊2日で福岡へ職員・保護者含め総勢12名で研修視察旅行に行ってきました。研修地は西南学院大学と福岡医療専門学校。今後の進路指導において、とても参考になる研修となりました。



## 「口加塾」未来学概論 2015～鍛錬する～

12月21日(月)、山形大学・富士大学教授の鈴木晃彦先生をお招きし講演会を行いました。ご専門の英語で私たちに熱いメッセージを下さいました。「執念を持って夢を叶える」「叶えたい」ではなく“叶える”という執念を持つ事の大切さを訴えておられました。約90分の講演会でしたが、生徒達は真剣な眼差しで話に聴き入っていました。



## 主権者教育

12月17日(木)主権者教育が行われました。今年6月の公職選挙法改正により選挙権年齢が満18才に引き下げられる為、有権者としての義務や意義を学びました。来年の参議院議員通常選挙から一部の生徒達が政治参加することになりますが、主権者である自覚を持つ機会となりました。



## 野球部の新しいユニフォームです！

野球部OB会と保護者会より支援を頂きユニフォームを更新いたしました。OB会には今年の夏にもホームベースを寄贈していただき、重ねて感謝申し上げます。OB会、並びに保護者会の厚いご支援を力に、日々精進して参ります。ありがとうございました！



## 職員ペンリレー 横田 恵梨子先生(英語科)

プロ野球広島の前田健太投手が米大リーグ移籍を目指しているニュースを耳にしました。有能な野球選手が希望を胸に、世界に羽ばたいていく。そこで思い浮かぶのが鈴木一郎選手です。アメリカマリナーズ、ヤンキースそしてマリーンズに所属し、競争の激しい環境で記録を打ち立て続けるイチロー選手は特に努力の人としても有名です。特に私になるほどと思う名言のひとつを紹介したいと思います。「少しずつ前に進んでいるという感覚は、人間としてすごく大事。」日々の努力を積み重ね、自分を信じて進んでいくことが大事だと改めて実感させる言葉です。苦手な教科や物事をあきらめて何もしないのではなく、できることから少しずつやって前進していく。自分の期待する結果はすぐには現れてこないかもしれませんが頑張らしましょう。